新庄小

# センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～６月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

カマキリのたまごから、赤ちゃんがつぎからつぎへとたくさん出てきた。大人のカマキリと同じ形をしていたので、びっくりした。（２年女子）

夕日は空だけでなく、いろいろなところを真っ赤にそめてしまう。すごいな。
（３年女子）

遠くの山は青く見えて、近くの山は緑に見える。ふしぎだな。
（４年女子）

家のやねのところに、すずめのすがあった。家族がふえたような感じがして、うれしくなった。
（３年女子）

田んぼに水がはられ、夜になるとカエルが鳴き出した。今年も田植えの時期が来たと思った。
（６年男子）

１年生とそうじをしたら、昨日はできなかったことが、今日はできるようになっていた。うれしいし、すごいなと思った。（６年女子）

ブランコをこいでいるときに上を見たら、木のすき間から太陽の光が見えて、とてもきれいだった。
（５年女子）

カミキリムシの赤ちゃんはすごく小さいのに、つかむと大きな音を出す。小さな虫でも大きな力を出せるんだな。
（４年男子）

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第１号　R2. 7.7